

2004年1月1日

皆さん、新年明けましておめでとうございます。
旧年中は“アウトドアペンションもくもく”及び“ネイチャーリングサポートもくもく自然塾”をご支援いただきありがとございました。本年も宜しくお引き立ての程宜しくお願いいたします。

さて、2004年を向かえ何か目標を立てようと思ったのですがあれもしなきゃ、これもやらなきゃという元来の貧乏性なもので結局のところ行き当たりバッタリの1年になりそうです。

でも、今私たちが利用している自然環境を考えた場合ゆっくりですが確実に後退しているように感じます。今年で裏磐梯の住人になって18年目になりますがスキー場開発や遊歩道整備等便利になった分無くしていった物も多く存在することも事実です。その事を考え、次の世代に間違いの無いように導くことが”自然学校”の役割だと思います。

自然の中に自分自身を置き自然の大きさ、驚異を謙虚に受け止め共に過ごす、そんな活動をここ裏磐梯から発信していきたいと思います。

さーて、新しい1年が始まるぞ！皆さん頑張りましょう。(もく)

あけましておめでとうございます。裏磐梯の初日の出はとびきり、ではないが、朝焼け雲が赤く染まり、やがて白く輝くように変わり、白布山の向こうから太陽がのぼる、フツーの日の出でした。

なんとなく、今年は“めいっぱい”じゃなくて“フツー”に「たのしい」「おもしろい」「うれしい」「しあわせ～」「やることはやる」人でありたいと、思うな。

3度目の年女だしな。おちついていこーかな、と。

みなさん、本年もよろしくお願いいたしますね。(まき)

2004年1月4日

2004年の正月気分も抜け、裏磐梯も普段の生活が戻ってきました。ただ、年末年始にほとんど雪が降らず(生活するには穏やかな正月でしたが)、本格的なネイチャースキーシーズンなのにちょっと不安です。

今週末のツアーで行く予定の銅沼、ブナの木平はなんとか行けそうですが”藪こぎ”付きになりそう。明日下見に行ってきます。(もく)

青空!!風なし!!おもてにでるぞ!!

午前中、休暇村でクロカンの練習して、昼から銅沼へスノーシューで行ってみた。

対岸は、水が見えていた。が、スキーの跡(今日のものらしい)がある。

歩くと“じわわ…”ひゃー、水がしみてくる～。“じゃく”ひゃ～、片足もぐった～。

でも、イエローフォールまで行った。「これでは、何だかわからんかも」

戻りは山を歩いた。(注:イエローフォールまで赤印まだないです)

スキー場の帰り、カーブで車が滑って、桧原湖に落ちそうになったので、ハンドル切ったら対向車線に入って、そこへ対向車が!!なんとかセーフでしたが。そのあと私の前後の車のスピードは、落ちました。スリリングな日だ。(まき)

2004年1月12日

新雪にも限度があるようで10日は猛吹雪の中のツアーになってしまいなんと、楽しいはずの降りも歩くことに。まったく、とホホなツアーになってしまいました。

だが、しかし、でも・・・なんと11日の銅沼は無風状態、ジャケット要らず、ビール必携ツアーに。お天気お姉さんに感謝です。

今年は暖冬、雪不足の影響かイエローフォールもちょっと小ぶりで迫力に欠けますが見上げる氷爆はやっぱり一見の価値あり。

来週はスノーシューツアーです。(もく)

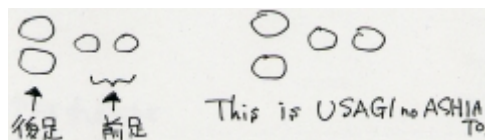
2004年1月13日

例年、今頃は「もう大丈夫！」って氷上を歩きはじめるんだけど、「だ、だ、だいじょ～ぶかなあああ…」と、オソルオソル歩きはじめてる状態です。

ワカサギ釣りのテントも、桧原湖に姿見せはじめてますが、「い、いのち知らずや～」と思

ってしまう。

早く安心して氷上散歩したいもんだ。やっぱ、寒い冬の方が私は好き。(まき)



このウサギは、図の左へ進んでます。前足はたてについてるんですね。
「どっちききなんだろう？」って、今日のお客さんが聞くので、足の指の形までよく見たら、見たウサギは左手(=左前足)が前に出てました。「左ききだ!!」

2004年1月15日

天気図見て「こりゃーやばいぞ」と思ったのは私だけじゃないでしょう。

案の定13日夜から台風なみの猛吹雪！
高速は止まるは、JRも運休、除雪は間に合わなくて車は突っ込んでるは…

やはり自然の威力にはかないません。
こんな時は家に居るのが1番というわけでレンタルの整理やスノーシューの修理、そしてワックス掛け…
なんだ結構忙しいじゃん。
今日(15日)は雪かきに3時間もかかってしまいました。(もく)



2004年1月17日

昨日、今日、予想外に天気上々。
14日～15日の猛吹雪で積雪もパッチリ。
気温低いから、雪はサラサラ。いいね～！
16日は猫魔でテレマークを練習。もしかしたら、リフト降りて、下に着くまで、私、息止めてんのかなあ…。なんか疲れるんだよね。
今日は、休暇村とレンゲ沼あたりをクロカン。
まさらのレンゲ沼。「ウサギの足あとあるから大丈夫だよな…」トレースをふり返っても水はしみてこない。「よーしよーし」夏道は一際歩かない。白樺展望台に登って桧原湖を見た。まん中へんが黒々と水面。
これじゃ、ほんとにこの冬は、短いよオ。寒くなれ～っ。おねがい。(まき)

2004年1月18日

1月には滅多にない週末のどっピーカン。先週に休暇村コースが全通整備されたこともあり、こんなにクロカン好きがいるんだというほどの賑わいでした。
僕の担当は「ネイチャースキーstep1」。初心者対象ののんびり、のほほ～んとしたこんな日にはもってこいの企画で参加者は勿論、イントラの僕が一番楽しんでたかも！
天気がいいだけで楽しいんだなこの遊びは。
もうひとつの企画「スノーシューツアー」の銅沼も大盛況でした。(もく)

銅沼スノーシューツアーに行った。
参加者8名全員、日帰りだったのだが、会津若松と新潟は、わかるとしても、「Yさん、どちらからいらしたんですか？」「岩手です」ひえー!!「今日、帰られるんですか…？」「8:00に帰れば、いいかと思って」ひえー!!
私の親の年くらいの方にお見受けしたんですケド、お、お元気ですねエ。
銅沼を渡ったら、最後の最後まで、パキパキパキ…「あっ、ヤバイです、右に逃げましょう!!」もー、ホントに今シーズンには凍らないったら。
イエローフォールからの帰り、急斜面をフカフカの雪をけちらして下った。「子供にかえったみたい。ホントにどこまでも行けるのね。またこんな坂でてこないかしら！」んんー、ココロもお若いですねエ。ステキです。(まき)

2004年1月20日

昨日1日、ボタン雪が降りつもった。今朝までチラチラ降ってたが、午前うちに青空になっていった。

午前中、五色沼スノーシューツアーに行き、午後あいていたので、中瀬沼あたりをクロカン。流れ山をいくつも滑り、誰のトレースもない、ハンノキの森のまん中で、あおむけになった。

枝先の雪が、透明な氷になって光っている。時々落ちてくる。

青空。白い大きな雲が流れていく。

コジウカラが左手の幹にいる。コガラもみえる。また、思ってしまった「は一、しあわせだあ〜。満足だ〜」。だけど、この時、誰かが「チョコパイ食べる？」とさしだしたら、私は言うぞ。「たべるっ!!」(まき)



2004年1月23年

15日が猛吹雪で、どっさり積もった。その朝、雪かきをしていると、家の前の道路でクラウンがスタックしてしまった。

おじさんは助けを求めたわけじゃなかったが、脱出するすべがわかっていないようだったので、おせっかいにも手伝った。でも1人では力不足。おとなりのM君に助を求める。けどまだ力不足。そこへ近所のペンションの人が、除雪ブルドーザーでワイヤーもって来てくれた。

クラウン脱出！

ペンションの人は帰ってしまったが、私らは雪かきの続きをしていたら、おじさんお礼のお金をくれた。後日、そのペンションの人にも、るす中にそれを届けた。

今日も、ゆうべからの雪がどっさり積もった。おとなりさんと3人で雪かきしていると、そのペンションの人がブルに乗ってやってきて、そのお礼の話になった。そしてなんと、うちの雪をあっさりとかたしてくれた。きゃー神さまー。これってクラウンのおじさんに感謝かしら…。(まき)

2004年1月25日

土曜日(24日)午前中は“どっピーかん”！お昼過ぎから雪が降り始め風も出てきたかな…会津地方(裏磐梯)の冬では当たり前の天気。地元では“あーまたか…”程度。でも、天気予報では「会津地方は大雪、風雪、大荒れ…」

えっ、これで？もしかして日曜日に日帰りスキーを予定してた人は中止にするかも。

これって誤報？日曜日は本当の“どっピーかん”で楽しいスノーシューツアーでした。(もく)

2004年2月1日

週末(1/31. 2/1)は裏磐梯で唯一のX-Cスキー大会“2時間トライアル”でした。参加者330名(定員は350名)で実行委員はペンションオーナー4名。驚異的です。

リピーター参加が多く選手同士も顔見知り。和気藹々の22回も続く長寿大会です。

天気にも恵まれ選手、スタッフお疲れさんでした。(大会リザルトはリンク集からどうぞ)(もく)



イエローフォールの下で、お客さんがつくってくれたココアを飲んだ。おいしー！

私はメロンパンを4つに分けて、お客さんと食べた。

隣では、5～6人のグループが中華丼を作って、いいにおいが流れてくる。「んー、ふふふ、そそられますねえ」あー、おなかへったあ。

そうそうそう!!

あのですね、裏磐梯の冬16年目にして、はじめて！沼に落ちました。弁天沼に。(んなこと自慢すんなっつーの)

1月31日のこと。

ほんとーに今年は暖冬!!(なお、落ちたのは私1人で、お客さんたちは無事でした)

そんなこんなのスノーシューツアーの日々です。(まき)

2004年2月5日

冬のはじめに「暖冬?少雪?」って気をもんでいたのが何だったんだ～っ! てな積雪。ここ数日、“腰パウ”(=腰までのパウダースノー)のイキオイで降ってます。でも、氷は薄いよ。水上は気をつけて!

2月3日に、新人スタッフ沖山君と、奥さんのレイカちゃんと私の3人で不動滝スノーシューツアー。1月後半に沖山君と2人で行った時にも、今回も、カモシカの足跡がありまして、しかも今回は新しかった。

「あえるかもよー」

足跡のゆくえに視線をなげつつ、会いたい、会いたい…と心で願う。そうしたらば。

「いたっ!!」ガケ上のブナの影から3人を見おろす立派な個体。レイちゃんが双眼鏡で顔を見て「コリー犬みたい。」なので、この個体は「コリー」と名付けました。またなー、コリー。(まき)

2004年2月7日

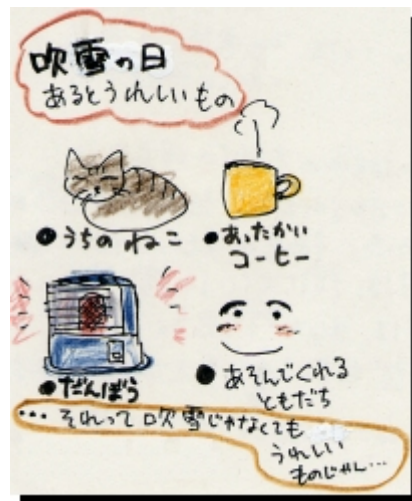
今日も1日よく降った。

朝6:50から家の雪かきを始める。

知人が除雪ブルドーザーで通りかかって、3回どかしてくれた。おかげで40分で雪かき終了。今度その知人の食堂へお昼食へに行こう。

今日届いた、福島県の南のはずれの村からの手紙に、「おてんとさまにさからわないで、無理せず自然(じねん)といきる」とあった。福島県の北のはずれの我が村とその村には、同じくらいに雪が多い。

冬は、私もとくに思う。人間は自然を打ち負かすことなんてできないよ。吹雪の日には、おとなしくお家でねましょ。(まき)



2004年2月11日

朝4:45に目が覚めた。窓をあけると南の空にサソリ座が光っていた。

9日まで降り続いた雪も、10日にはやんで、風のない星月夜は青い雪に木々の影を黒くおとしている。すてきな夜だ。(まき)



2004年2月13日

丘を越えたら、ブナとミズナラが、太い枝にたっぷり雪を乗せて、立っていた。幹によりそえば、私の姿がかくれるほどの大木たち。「こんにちは」とあいさつした。

丘を引き返すと、白い磐梯山が夕暮空にうかびあがっている。雪の上に腰をおろして、ぼんやりながめる。双眼鏡でのぞくと右手のカエデでは、2羽のコガラがひたすらエサを探している。私のことなんてかまっちゃいない。
「そーだよなー、コガラはコンビニで弁当買えんもんなー」(そんなコガラがいるならみたいかも…)
本日も、しあわせ。
こうやって、私はしあわせな時間をたっぷり貯えて、うらばんだいにやってくる人たちに、それを渡していく。
年々ガイド業が好きになるなあ。(まき)

2004年2月15日

いやあー天気というものは変わるもんだな〜という週末でした。
土曜日はTシャツ1枚、どっピーカンツアーでブナの木平。ウサギには会えるし、ちょっと重めの雪だけどターンは決まるし、コースは迷うし???とてもバッチグー(完全死語)なツアーでした。
つづく日曜日はこれでもか!の冬の嵐。小屋で食事をしてたらスノーシューの熟年団体さんが到着。いるもんだねーこんな日にツアーをしてる人達が…
無謀な中高年スキーヤー…の見出しにならないように注意!(もく)

2004年2月16日

このところ銅沼スノーシューツアーが4連ちゃん。でもあきないんだなー。
2月14日(晴!!) 極上の天気。今シーズンはじめて飯豊を見た。
2月15日(猛吹雪!!) 今シーズン最高(いまのところ)の参加人数11名。この悪天候で1人としてキャンセルしないのって、皆様、根性ありますよね。別なイミで忘れられない、ツアーでした。
2月16日(くもり・雪) リピーター渡辺さんがお友だち連れて来てくれました。昨年は3月4日だったみたいです。笑って笑って、体がほぐれたみたい。
2月17日 さて、明日はどんなお客さんと、どんなツアーになるだろう。たのしみ。(まき)

2004年2月22日

西の空に、下弦の月が光っている。
雪のうす明かりで、桧原湖のまん中の島まで、クロカンを走らせる。夕方、6:15、島のてっぺんで、南風に吹かれつつ、星を見上げた。
シリウス、オリオンの星、ヒアデス、プレアデス、カペラにカストル、ポルックス、プロキオン。
びゅう!と東風に変わる。ほんの5分の夜の深まりで、星の輝きが強くなる。
ヘッドランプはないけど、平気。北のひしゃくの下に、白樺展望台の影がある。あそこへ向かえばいい。東風はあったかい毛布みたいで、「このままくるまれてねたいなあ」と思った。
「でも、おなかすいた…家でごはん食べよう」
7:00帰宅。
そうそう、月の上に、シリウスよりもうんとうんと明るく白銀に光る星があったけど、何だろうな。(まき)

2004年2月26日

今シーズンはガイド、イントラ、野暮用…となんとなく忙しい日が続きやっと取れましたオフの日。やっぱり行くなら雄国沼でしょう!
昨年春から裏磐梯〜喜多方がバス路線で結ばれたので車の回送をしなくてもツアーが楽しめる。これは便利!
誰もいない樹林帯は極上の30cmパウダー。快速テレマークで降れば“あっ”という間に小屋到着。
やっぱり雄国はいいねえー。(もく)

夏の企画は2月に決定するんだけど、今回私は、いろんな人をまきこむヤツを考えた。
1泊2日で桧原湖をまわる。お客さんは噴火記念館にバスかマイカーで集合して、マイカーの人は止め置き。そっからは歩きと船で旅をする。地元の民宿にとまって、温泉入って、2日目の旅も歩きと船。ガイドはもちろんこの私。
きのう、最後の打合せを、早稲沢の民宿へ行って決めてきた。それから、こたかもりのペンションのバイトに向かう途中、おだやかな、まっしろな、桧原湖を片目でみてたら(運転中なので…)両ピークをくつきりみせてる磐梯山をみてたら、「あー、みんな大好きだあー」と思った。
私は小さな存在だけど、たかだか30数年しか生きてないけど、ここにいる人たちと、お客さんと裏磐梯という土地とたのしくやっていくのだあ！な～んてね。(まき)

2004年3月1日

きゃー、弥生がやってきましたねえ。
さて、4年に1度の2/29も、私は銅沼へスノーシューしに。
雨。13人のお客さんは、沖山けんちゃんや、私のお父さんお母さん世代の方々、もしくはそれに近いの方々。だけど、スノーシューはいて歩いたらみんな少年少女化してしまった。
「土井さーん、そっち行ってもいいけど、私のみえるところであそんで下さいねえ～」
けんちゃんが、最後尾を見ていてくれるので、私は安心して、お客さんを勝手にさせられる。
雨でしまった雪を、しりすべり。すごーいスピード。「ああ、たのしかった！」最後にお客さんの笑い顔。(よかったね～、先生はうれしい！)と、思わず先生化する私でありました。(まき)

2004年3月3日

ひなまつりの今日、うらばんだいは雪です。
1日～2日、東京の小学6年生11人と、休暇村と桧原湖でクロカンざんまい。
最初に集合した時、女子が男子にとびげりくらわせたので、「こらあっ!!」と一喝。
「なんでやったの?」「こいつが悪口いったから」「言われたからって、けっていいってことないでしょう!」怒られた女子はむくれていた。
11人の名前はその日のうちに覚えて、2日だけの先生とはいえ、しゃべれる仲にはなれた。
2日目の桧原湖ツアーは最高だった。風なし、雪はサラリ、スキーは滑る、磐梯山はクッキリ。
疲れた子は休ませたまま、滑りたい子とは、島へ登って降りる。私でも“これは挑戦だ”という斜面(私は転ばないが)をクリアした子がいて、感心した。笑顔がいいんだよねー。先生はたのしかったぞ。みんなはどうだったかな。また、あそびにおいで。(まき)

2004年3月4日

セレナ君(私の愛車)が風邪をひいたので、点検してもらうことにした。
「20万かかるかも」
あーどーしよー。でも治さなきゃ仕事になんないし…。オロオロ。う～、もっと働かなきゃ…。
夕方、連絡が入った。
「2万円用意しといてー」
「へっ?それで治ったんですか?」
「なおったなおった」
やったー、めでたいいっ。2万なら安いもんよ。はー、よかったあ。(セレナ君の風邪とゆーのは、アクセルふみ切って坂道50km/hしか出ないっていう症状でした)
「そうだ、マフラー治してください」
「おー、じゃあ部品入ったら連絡すっから」
やっぱりマフラーこわれてたから風邪ひいたのよ…ちがうって。(まき)

2004年3月11日

きのう今日と、「福島県ツーリズムガイド研修」を受けに、いわきまで行ってきた。もくもくからはフルメンバーが参加。

もくさんが、もくもくよーちえんバスを出して、裏磐梯や猪苗代の人たちとで行った。まるで遠足である。

「ビールのみましょーかー」

「俺も飲むからいいもん」

「もくさんはドライバーだからだめでしょ」

「池田君に運転かわってもらうから」

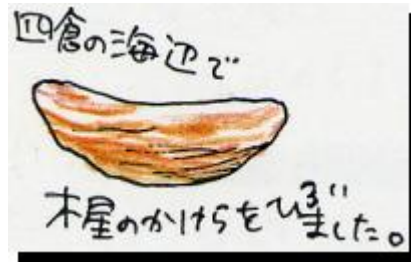
おいおい。

雪深い山奥から海っぺりへ向かうと、雪なんか無くて、ウメなんてさいてる。

「春じゃーんっ」うきうき。遠足だ。

けさ、海岸まで15分歩いて、ひとり日の出を見に行った。缶コーヒーのんで、くもり空と波をぼーっと見ていた。フト目をやると、アヤシイオヤジが2人。ビーチコーミングしつつ、そっちへ行くと「あっ、もくさん！」

「まきちゃんかー、池田君もいるよ」お互いに、アヤシイと思ってた3人であった。(まき)



2004年3月14日

なぜかこの「高曽根山のブナ太郎」ツアーを実施するときは3月だというのに出発(晴れ)→ブナ太郎到着(吹雪)→帰り(晴れ)の図式が…山には精霊がいて来るものを拒んでいるようです。

今回は山の番人ニホンカモシカが出迎えてくれたのがラッキー！

でも一度でいいからどっピーカン の日に会いに行きたいものですネー。(もく)



晴！風おだやか！あったかい！雪はしまってる上に少々積もってる。昨日の足跡がけされて、誰も入ってない場所に見える。

やっほー、好条件。2組のお客さんはどちらもしわきからの人たち。

「私、こないだいわきに行ってきたばかりなんですよ」アクアマリンふくしま(水族館)は、朝から晩まで1日じゅういたってあきない！草野心平の記念館も行きたい！湯本の温泉も入りたい。

「ぜひ、いわきにも遊びにきて下さい」

「もちろん！」

飯豊連峰もバッチリ見えてる銅沼スノーシューツアーしながら、お互いの住んでる所自慢。

やっばし、自分の住んでる所がすきだ、と言えるっていいよなあ。

いわきの人雪の世界にあこがれて。うらばんだいの私は、海と一足早い春にさそわれて。福島っていいよオ。(まき)



2004年3月21日

このごろ天候が安定してる。

毎日「きゃー、今日もサイコー」って言ってるな。言いながら、家でヒルネもしてる。雪もよくて、天気もいいのに。これ以上のゼータクがあるだろか!!

きのう今日、久しぶりに私が長くやってたボランティア(裏磐梯サブレンジャーの会)の研修に参加した。やども、私が裏磐梯で最初に住み込んで働いて、こっちに住む足がかりをつかった「みちのく」だった。

なんつーか、我が家に帰ってるよーな気分で、私はその家の子供のように、のーんびりとすごした。“里帰り”ってこんなのかな。

ホントの実家には、4月に帰ろーつと。(まき)

2004年3月29日

今日もおだやかに晴。毎日ステキな天気です。
28日に、五色沼スノーシューツアーに行った。小学生の男子1名(レイくんという)にウルワシ女性(私も含めさせてくれっ)5名。もし私がこの小学生の立場だったら、もうマイあがってるね。

トチノキの冬芽をみたら、冬のはじめのころよりも、芽が大きくふくらんでびっくりました。「あ～、春なんだよなあ～」としみじみ。

「レイくん、何才?」「10才」「じゃあ、レイくんと同い年の枝、探してみようか!」

全員で探してみたら「あった!!」レイくんと10才の枝は、記念撮影。

「また、この枝、見にこなくちゃね」
どこかに36才の枝もあるかしら。(まき)



大阪から、以前一緒に裏磐梯でサブレンジャー(ボランティア)やってた中原君がきた。

「トウホクサンショウウオの卵が見たいなあ」

う～む、クロサンショウウオの卵なら裏磐梯でも、もう見られるんだけど…。

「あのさー、イトヨならいるとわかるけど、行く?」

「行く行く」(イトヨは魚です)

で、猪苗代湖にそそぐ川へ。

「いた～!!」彼の車にはいつもアミがつんであるので、すぐ捕獲できるのである。

「この沢にトウホクいそうだよ」

「どれ～?」

「ほら」彼は全国のサンショウウオ全て、分布してるところ行って、見てきてるので、こんなことは、お茶のこさいさい。

成体のオス・メスとも発見。「す、すげ～」

その後、伝保人の奥田さんにtelして、猪苗代のクロサンショウウオの卵のありかを聞きだして、そく見に行った。

「ほら」クロサンショウウオのオス・メスも発見やっぱし君は私の先生だよー。(まき)

2004年4月1日

さあ～今日から4月! スタートの月、花見、花粉症、そして年度初めです。
何をするにも「はじめ」はいいもんですね。気が引き締まって”さーやるぞ!”ってな感じです。

とっ、思って朝起きたら雪…裏磐梯はまだまだ冬なのです。(もく)

2004年4月4日

今シーズン、4度目の雄国ツアー。(注:全てプライベート)
猫魔→ラビスパです。やりたかったんだよー。うれしい～。

同行は、新スタッフのけんちゃん。

きのう、久しぶりに雪が積もり、今日も1日雨っぽい雪がしやしやら降ってました。

だけど、ブナにミズナラに枝先にエビノシッポ。見とおしもきくし(展望はなかったけど)なかなかいいんじゃない。滑りごちもまずまずだし。

「けんちゃん、このポイント覚えときな」とか指導しまくってたくせに、最後の“くま落としの谷”をまちがえて、2人して急斜面をやブコギトラバース。駐車場になんともくさんがいて、み、みられてしまった…。「まだまだだな」はい…。(まき)

2004年4月5日

晴! 先日降った雪で、山はまた白くなって、青空にくっきりだ。けさの磐梯山はサイコー。今日からしばらく“春のバカンス”です。中通の方へ小旅行ってとこです。

この部屋からの眺めは上々で、安達太良山のみものわから本山まで見えるし、吾妻連峰も見える。吾妻小富士の“雪ウサギ”もそのうち雪がとけてきたら見られるでしょう。

まわりはモモとスモモとリンゴ畑だそうで、これから花見さんまいだ。

今日は農家の人たちが、枝のせん定したりしています。
なんにしても、おしごとはなれるの、久々なので、うかれてまーす。(まき)

2004年4月7日



この2日間春を通り過ぎて初夏を思わせる
天気続いているのでもうそろそろ咲いてい
るはず、いつもの ひ・み・つ の場所にデジ
カメ持って行って来ました。まだ、完全に開
いてるのが少ないですがご覧の通り…場所
は秘密です。(もく)

2004年4月9日

今日もい〜天気です！
バカンスはこうでなくちゃね。
部屋から吾妻小富士が見えますが、中腹に雪形がみえてきました。ウサギのかっこして
ます。はじめてみるなあ。
サクラのつぼみが濃い色から日毎に淡くなり、今日はどうやら満開のようです。
その向こうにまだ雪をいただいている安達太良連峰が見えてます。
一面のモモ畑も、なーんとなく枝先がほんのりモモ色のよーなふんいき。
いごこちがいいので、いつまでもここにいたくなってしまうなあ。
ごはんもおいしいし、一緒にいるひとたちもたのしいし。福島って、いい所があちこちにあ
るなー。(まき)

2004年4月10日

朝5:00。体内時計というものは、環境が変わってもあんまり変わんないようで、この冬に
身についてしまった。“日の出とともに起き出して、日没とともにねてしまう”習慣が抜けてな
い。
他の人はまだ寝ているけど、部屋を出て、自動販売機でコーヒーを買って飲む。
東の空が赤い。2階の渡り廊下へ行けば、日の出が見られそうだ。
5:30ころ、そこへ立ったとたん、山の端から丸い太陽が顔を出した。どっかでハクチョウの
声がする。よーし、これで朝日を見られるポイントがわかったぞ。明日も見にいこう。(まき)

2004年4月16日

バカンス12日目。
ぽかぽかです。部屋からの一面のモモ畑はますますピンクが濃くなって、西陽があたって
る時は、そりゃもう最高にうつくし〜〜〜です。
サクラはがくの赤い色に変わって、そして林のもえぎ色が目立って、季節は少しずつ移っ
てます。
雪ウサギちゃんは、毎年きれいに見えるに限らないそうで、「今年はいいぞい」とゆ一話。
Lucky!午前中がよくわかります。(まき)

2004年4月18日

もくもく自然塾の仕事に大手スーパーカルチャーセンター主催「山野草を楽しむウォーキ
ング」の講師があります。その第1回目が今週あるので下見に行ってきた。
土湯温泉近くの沼で、ミズバショウで有名ですが、いやいやどっこい春の妖精カタクリも群



生しているとおきのいい場所です。
裏磐梯はこれから妖精たちが顔を出します。(もく)

窓からの景色の中に、カスミザクラらしい白っぽい花が見えはじめました。
ソメイヨシノのあと、遅れてこの花が咲くのだけど、「あー、裏磐梯も、この差だけは同じなんだよなー」と思ったりして。(まだ、中通りにいるからね)
同じ部屋に女4人。2週間も一緒にいるから、家族のようです。ゆうべ、他の3人が帰りがおそくて、寝つけなかった。みんなが戻って、TVつけてる音を聞きながら、ほっとして、ぐーぐー。
けさは、連れだって、5:15に日の出を見ました。
バカンスの終わりは、まもなく。楽しいから、このままでいたかったりする…。しみじみ、「いい人たちとめぐりあえたなァ」と思ってマス。(まき)

2004年4月21日

「裏磐梯日記」ご愛読のみなさん、たかはしまきです。
さて、ここで問題です。この4月の長いバカンス、私はどこで何をしてたんでしょーか。
答え、福島盆地のモモ畑の中にある病院に入院していた。
4人部屋のみんなとは、楽しく過ごせました。隣のベッドにはプロの美容師さんで、3人してフェイスエステしてもらったり(病室で)。ラ・フランス農家の娘さんから、彼女の家でつくって、かんづめもらったり、はたまたもう1人の方には花を生けてもらったり。
楽しくて、退院したくないくらい。だけど元気になってきたし、そろそろ社会復帰すっかな。では、裏磐梯でお会いしましょー。(まき)

2004年4月23日

あーくもってる～。まだ入院中ですが、「どれだけ動くと、どれだけ疲れるか」テストを、自分で自分に課してまして、毎日外出しては、夜病院に戻って、先生に診ていただいています。
20日は半田山(ソメイヨシノ満開、レンプクソウが咲いてた!!)。21日は病院からあぶくま急行の高子駅まで歩いてみる。22日は信夫山(新緑と、カスミザクラとシハイスミレがもう、うっとりで、今日は郡山の公園まで友人と行って、帰りは電車&バスで1人で戻る予定。
なのに、くもってる～。まーしゃーないけどさ。
27日には裏磐梯に帰るぞ。
朝起きて「あ、昨日より今日の方が元気になってる！」と実感するごとに、帰る自信がついてきます。(まき)

2004年4月26日

4月23日は「寒の戻り」のトクイ日だそうで、天気予報を見ながら“ふ～ん”…あれ？東北上空に氷点下35度の寒気が！
ドンピシャリで週末大当たりでした。有料道路は通行止め、除雪車は出動、ツアーは中止…
とほほな4月最後の週末でした。でも、本日リベンジで行ってきました浄土平。
やっぱり春のツアーはこうでなくちゃ！(もく)
[※ネイチャースキーベストショット参照](#)

2004年4月28日

きのう退院した。
不安だけど、ハンドルにぎって猪苗代へ走ってみる。まずは写真の現像したやつとりにい
ってみよう。
「お久しぶりですー」
内緒にしてたけど、写真屋のやまうちさんにも入院のことは伝わってた。
「奥田君も呼んで、カタクリ見に行くかー」
ひまな3人(奥田さんはちがう?)で、イキナリ山へ出かける。私は街用のペタンコ靴だとゆ
一のに。雨も降ってて、足元ぬれてるってゆ一のに。
急な坂のぼってたら、猪苗代湖が西洋風な青に見えてきれいだった。
トウホクサンショウウオの卵、ヒメニラの花、カタクリ、キバナノアマナ、ユリワサビ。
なんといっても、「カモシカ！」3人して出会えたのは、退院祝いかしら。おひるの2:00に。
(まき)

2004年5月3日

このGWはいい天気。風もおだやか。
車の列が続いて、駐車場はあふれて、観光地住人としては“正しい連休の姿だ
わ！”って、ホッとします。
みんな楽しんで下さいねーって思っちゃう。
私はどこにいるかとゆーと、裏磐梯の“都会”剣ヶ峰(セブンイレブンとかある所)の「ペンシ
ョン案内所」で、臨時アルバイトしてます。
2日はつらかったよー。
「今日、泊まれる所ありますか？」
「すいませんー、今日はいっぱいなんですー」
民宿とか、旅館の案内所もきいてみたし、果ては猪苗代へもTelしてみたよ。
「猪苗代もいっぱいなんです」その人もさんざん探した声だった。
すげー。ぴーく！はー、何人お断りしたことか。
お客様、裏磐梯はいつでもよい所です。ぜひ、またおいで下さい。(まき)

2004年5月5日

GWも終わっていつもの静かな裏磐梯に
戻りました。
天気予報がドンピシャで後半は雨が降っ
てしまい寒い幕切れでしたが、皆さん楽しん
だことでしょう。
私を含め仕事をしていた人たち！これか
ら遊ぶぞ！
ブナの新緑、オオヤマザクラ…裏磐梯は
これからがベストシーズンです。(もく)



2004年5月6日

きのう、夏が来た。5月5日は「子どもの日」でもあるけど、“二十四節気”でいうと“立夏”な
んだそーで、きのうから夏。
しかし、裏磐梯は所々雪あるし、よーやく新緑、オオヤマザクラ満開、ミズバショウがきれ
い、とゆー「春がはじまりました」状態。きのうは寒かったし雨だったし。
でも来てました。かささして、野鳥の森歩いてきたら、キビタキはまださえずってなかった
けど、4羽もいたし、オオルリは木のとっぺんで、きれーに鳴いてたし。
さあ、夏がくる。今日は晴。(まき)

2004年5月12日

前回の日記に「GWに仕事したので遊ぶぞ！」と宣言した通り行ってきました駒止湿原。知る人ぞ知る、ワタスゲの群生地です。当然まだ早いのは承知で、今回はミズバショウを見に行行って来ました。えっ？裏磐梯にもあるのになんでわざわざ…ところ違えば花変わるでちょっと違うミズバショウがあるんですよ、ここには。写真を観察して違いを発見して下さい。(もく)



2004年5月17日

5月15日、五色沼を歩いたら、今年はじめてエゾハルゼミの声をきいた。
5月16日、明け方、フトンの中で、今年はじめてカッコウの声をきいた。
カスミザクラが咲いて、まだ新緑の季節。だけど、あっというまに「夏！」になっていくんだろうな。裏磐梯の夏はかけ足だ。
今日からまたバカンス入院です。ここ福島盆地でもカッコウが鳴いてました。モモの葉が青々と茂ってます。
カッコウが南の島へ帰るころ、私の入院も終わる予定です。(たいていは裏磐梯にいますが、時々入院するのです)
ガイドの仕事はしばらく休むことにしました。冬、またみなさんにお会いしますね。(まき)

2004年5月22日

植物シリーズ第2弾この写真は何でしょうか？
そう、ご存知ヤマブドウです。秋には美味しい実を付け果実酒にしたり、ジャムを作ったりしますがいえいえどっこいこの時期にも美味しい食べ方があるんですよ。
山菜同様てんぷらにするとほのかな酸味と勿論ぶどう味！でも、当たりはずれがあって美味しくないのもあります。(もく)



きのうか今朝か「ポポ、ポポ」とツツドリが鳴いていた。カッコウの仲間(外見はそっくりさん)だが、少し遅れてきたのかなあ。
きのうはワラビとウド、コゴミを採る。今年初の山菜採りだった。採って食べると、「あ～私はここで生活してんだあ～」という気持ちぐ～っとわいてくる。
あとね、ワラビ。あれは見つけしだい採らずにはいられなくなる気持ちにさせる植物だ。人はそれを「ワラビ病」という(…いわないって)。
午前中は久々に晴れ間がのぞいたので、思いきってシーツとか、枕カバーの洗たくをした。ベランダで干してたら、エゾハルゼミがぬくい空気に声たからかにないていた。(まき)



2004年5月28日

猪苗代へ買物に。さわやかな天気だったので、ベニマルでおにぎりを買い、亀ヶ城(猪苗代の城址)にまわる。

湖と、水の入った田んぼをながめなつつ、おにぎりを食べていると、下から女の子が3人、元気よく急斜面を登ってきた。

私と同じく、ここでお昼を食べるんだらう。

「いい日曜日をすごしているな」

まわりの草むらには、ウスバシロチョウが6匹飛んでいる。なんてのんきにしたら、ケータイが鳴った。「中瀬沼の近くで、トリが巣かけて、姿が見えますよ。」っていう連絡。「じゃー。午後行ってみます。」で、探しに行く。ホントだ、前に見に来た時には、かけた巣を風でおとされてたけど、また同じとこにかけたんだ。ケナゲだなあ。多分、コサメビタキ。帰りにトンボの羽化発見。写真におさめる。雨が降ってくる。(まき)

2004年5月29日

今週は天気が良かった。24日雄子沢、25日野鳥の森、26日雄国沼、27日桧原湖畔と中瀬沼。ニリンソウとエゾハルゼミ、オオルリが印象に残っている。

28日は、午前中30日の桧原湖サイクリング大会の準備手伝いに行く。

午後から、畑つくりに行く。専業農家の佐藤さんが、トラクターとマルチと苗とたねと肥料を持ってきてくれるので、ホントに労力だけ提供する。

オーナーの清水さんは別荘なので、毎週末しかこない。「まきちゃん、やんなさい」と言われている。

トマト、ミニトマト、イタリアンパセリ、フェンネル、バジル、ナスターチウム、キュウリ、長ナス、水ナス、ズッキーニは緑色と黄色の、つるなしカボチャ、ルッコラ、サニーレタス、いろんな葉もの、じゃがいも、にんじん。あとで長ネギとパプリカも追加。

うまくいかな、楽しみ。(まき)



2004年6月1日

梅雨入りの前にちょっと秘密の場所に探し物をしに行ってきました…というわけで好評の？花シリーズです。

裏磐梯でもほとんど見なくなったオキナグサという花で、私の知っている限りこの1株のみ自生しています。

これから花のシーズンを迎え歩道沿いのスコップ跡が目につきます。家で一人野草を見ながらえへへ…おっ～怖い。やっぱり花は自然が一番！(もく)



2004年6月2日

磐梯山に登った！

昨年までは、仕事でさんざん登って、「はい、毎度オ～」って感じだったけど、病気してこの山に登れるってことは、心底うれしいです。「ああ、大丈夫だっあ！」って。

もくもくのスエミさんと、沖山けんちゃんの奥さんのレイカちゃんと3人で、6:00出発。

8:30ころ弘法清水で朝ごはん。

9:20山頂。

本日の天気は極上で、まっ白な飯豊はもちろん、吾妻、安達太良、裏磐梯全景、猪苗代全景、郡山も若松も喜多方も、そして大好きな朝日連峰も月山もバッチリ！

風もおだやかに、アマツバメ飛びかう山頂にてコーヒー。しあわせです。(まき)

2004年6月8日

今回はいつもと違うお話をちょっと…私の数少ない??趣味のなかにオーディオがあります。

最近ショップで見つけた一押しがこれ！発売はちょっと前ですがいやあ～いいんですよこれが。あのROD STEWARTがアメリカのスタンダードを存分に聞かせます。

灯りを落としてバーボン片手に、気分はも～っ…アメリカン！（もく）



2004年6月10日

早稲沢の知人の所に泊まった。

「トリの巣あんだけど、見に行くか?」「行く!!」若いスギ林のヤブのかげに、地面に皿型の巣があった。「卵あったんだけどなあ」1つもない。

巣立ったのか、ヘビに食われちゃったのか。カラがないので、あまりよろしくないソーゾーをする。

ビジターへ行き、本で見て、ヤマドリの巣らしい、と判断。

その日の午前中、6日に発見したという、キツツキの巣を確認しに行く。五色沼の遊歩道の途中にある。サクラの大木の低い所に丸い穴があいていた。ほった木くずも新しい。

あとで、例のコサメビタキの巣もみに行こう。6月6日には、ヒナの顔が2つのぞいていた。(まき)



2004年6月14年

ゆうべ、フト窓をあけたら磐梯山にかかる天の川とサソリ座。満天の星で、「明日は朝から元気よく行くぞ!」と力がわいた。

それで6:00から洗濯して、そーじして、草刈りして、ごはんたべて、ふとん干して、秋元湖へアカショウビンを探しに行った。アオバトの声、クロツグミの声、キビタキの姿はあれど、「キョロロロロ…」の声はなし。そこでリゾートインみちのくの、としやさんとこへ寄る。

「ここかなって思った所にいなかったんだよね。」

「おれもここ2、3日見てねーんだ。」

やっぱしこの人は、裏磐梯一鳥情報に詳しい。

としやさんが「時間があるのか?」やさそってくれたので、2人して小野川湖畔探勝路アカショウビン探しにトライした。が、まっぴるまだったせい、声も姿もなし。オオルリをじーっくり望遠鏡で見て帰ってきた。いいやー。たのしかったし、森の風はとてもさわやかでした。(まき)



2004年6月15日

東北地方も梅雨入りしたはずなのに雨が降らない日が続き、爽やかな毎日です。
とっ、いうことは…やっぱり山歩きでしょう。この時期は「雄国沼湿原」がお勧めで、レンゲツツジ、コバイケイソウは満開！ニッコウキスゲもチラホラ咲き始めました。ヒメイチゲ、チゴユリも足元を飾っています。
次回はニッコウキスゲ特集になるかな？
(もく)

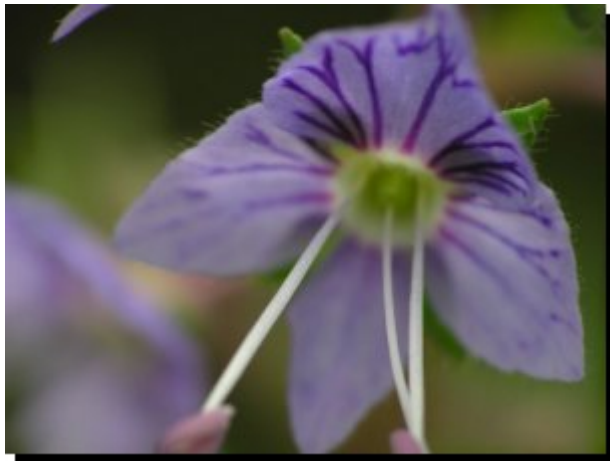


志帆ちゃんをさそって、磐梯山に行く。
この時期は、どうしてもバンダイクワガタが見たくなるので、渋谷登山口から登ってく。
晴れ、しかし体が飛ばされる大風。
目には砂粒びしびし。体感温度が下がって、おかげで汗をかかずに済んだ。
お目あてのバンダイクワガタはいっぱい咲いていた。ハクサンチドリ、サラサドウダンもきれい。
「志帆ちゃんあそこが山頂だよ」
「人が小さく見えますね。遠いですね」
「私、弘法清水小屋の吉田さんとしやべってるから、1人でいっただよ」
「私も休んでます～」
とか言ってたのに、結局2人でピークへ行った。
猪苗代湖の青さがきれいだった。下山中、カモシカに会っちゃった！
病氣して2度目の磐梯山登山。行けるとしみじみうれしくなる。(まき)



2004年6月28日

今回はニッコウキスゲ特集だ！のつもりがいよいよどうして自然とは奥深いもので、今月中旬に遅霜が降り(ご存知でしょうか?)折角付けたつぼみがやられてしまいました…残念。
次回にご期待を。という訳で写真はバンダイクワガタ、磐梯山のみ自生する個体です。
(もく)



2004年7月4日

「飯豊はいいで～」。前座ネタで申し訳ないですが今回の花の飯豊山行は天気に恵まれすぎて暑い！とクレームが出るほど。
シラネアオイ、ヒメサユリ、ヨツバシオガマ(写真)イワギキョウ、ミヤマウスユキソウ…ええ～いどうにでもしやがれ！多すぎて忘れちゃった。
満足の3日間でした。やっぱり来年は縦走かな？(もく)



夜8:30、風弱く気温22℃。休暇村キャンプ場の川へ向かう地元4名。

泊まる人はなく、外燈は消えている。月と星は、うすぐもの彼方。

ゆるやかな流れに、ゲンジボタルがふわりふわりと飛びかい、一斉に光ったり、消えたりしている。

蚊もいないおだやかな夜。木の橋げたのぬくもりに腰かけて、それを眺めた。

こんな時間をすごせることが、ここに住んでいるしあわせ。

上流の白樺橋のホタルの様子も見に行けれど、まだ時期は早かった。暗い森の向こうに月明かり。(まき)



2004年7月11日

飯豊の花シリーズ第2弾「チングルマ」です。

昨日まで30度を越す日が続きましたが今日はなんと15度！息が白いです。でも、梅雨入りして久しぶりの雨なのでなんとなくほっ、としてます。そろそろ農作物に被害が始めているので恵みの雨とはこのことでしょう。

でも、明日からまた暑くなるそうです。梅雨明けかな？(もく)



2004年7月18日

雨模様が10日くらい続いてる。青空がホントに恋しいよお。

くもりになった夕方、猪苗代の田んぼへ行った。6:00台はほの明るい。ヒグラシが鳴いてる。あぜを歩くとアマガエルが跳ねていく。セミの幼虫が羽化の場所探して歩いてた。

車に戻ってキュウリの浅漬けつまんだり、お茶飲んで暗くなるまですごす。涼しい。

いつのまにかヒグラシは鳴きやんで、カエルの声はやみにひびきはじめてた。

再び田んぼへ。8:00まで待ったかいがありました。ホタルが光ってた。

「夏は夜」ああ、そうだよねえ。日本人でよかった。(まき)

2004年7月19日

バケツをひっくり返した様な…という表現がびったりの雨が5日間連続で降り、登山、シャワーウォークは中止になってしまいもうもく自然塾スタッフ一同開店休業状態でした。

一方夏の妖精ホタル君も長雨で出る機会を無くしたみたいで今年は少なめです。

でも、毎夜観察会をやってます。これからはヘイケボタルです。(もく)



2004年8月3日

夏休みに入って忙しくてなかなか日記の更新ができず、いつまでも「トンボ」出してんじゃない！とお叱りの声が…申し訳ないです。

さて、その忙しい仕事というのが今夏大ブレークの「シャワーウォーク」。

気温30度、水温15度、沢の音、せみの声…仕事忘れそうです。

これ、見た人は是非チャレンジして下さい。
※これから当分このネタになりそうです。(もく)



2004年8月6日

8月2日から「裏磐梯を散歩しよう」始めました。29日まで毎日9:30～11:30、レンゲ沼、中瀬沼を歩きます。

エゾミソハギ、コバギボウシ、ハンゴンソウが今きれい。

ハグロトンボ、オニヤンマ、アキアカネにマユタテアカネ、オオルリボシヤンマが飛び交ってます。

ところで、いもむしが、このごろ気になって…。一緒に探しませんか(笑)。(まき)



2004年8月10日

8日の「散歩しよう」の時。中瀬沼から流れだす川沿いでトンボの死体を拾った。

緑にふかーく光るウツクシイ目！体は黒と黄色のだんだら模様。「オニヤンマ！」と思うでしょ？

こおれがまた、この配色のトンボ達って、いろいろいるんです。

これは調べるチャンス！ エゾトンボ科コヤマトンボ。

「このヤゴをこの川の下流で見つけたことがあったなあ…」なんか階段ひとつ昇れた気分。

―――次の日、トンボの目はこげ茶にくすんでた。すくった水が指の間からこぼれてったみたい。さびしい。(まき)



2004年8月13日

去年の雨の夏とうって変わって、晴れ続き。朝晩は肌寒いくらいに涼しく、昼は暑くなる正統・裏磐梯の夏！

12日のペルセウス座流星群を見た話を何人かから聞きました。
今の私は、体調と相談しつつ日々過ごしてるので、流星群の晩は布団のなか。フルタイム動けるように戻りたい…ってつい考えてしまったね。
部屋で横になる夜、すだく虫の声。秋の気配。(まき)

2004年8月14日

舌の根のかわかぬうちに今日は雨。…お客さんこない。

傘さしてレンゲ沼散歩。アキアカネ、マユタテアカネと、まだ顔が青緑になってないマイコアカネの識別に燃える。秋が深まれば特徴がはっきりするけど、出始めの今頃でも、何回も顔つきあわせてればピンとくるようになる。わき腹がポイント。

雨があがり、コサメビタキとアカゲラを見た。イカルが鳴いた。

しげしげと見てくと、オトシブミが葉から出たあとなんかもあった。(まき)



2004年8月15日

今日の「散歩しよう」は、鳥大当たり。エナガ、シジュウカラの若鳥とメジロの混群をゆっくり見てたら、なんとオオルリの若鳥がっ！

ハンノキの葉をオトシブミが巻いたの見たら、オトシブミの成虫もいたし。

夕刻は、プライベートでひと月ぶりに雄国沼へ。16:34林道途中でテン目撃。

カワラナデシコ、キオン、フシグロ、ヤナギラン、ヤマハハコ、ツリガネニンジン、トリカブト…。湿原行かなくても花いろいろ！

18:30ウサギ遭遇。

ラッキーな一日でした。(まき)



2004年8月16日

「散歩しよう」今日のヒットはハネがきれいな黄色の、アカトンボの仲間、キトンボです。はじめての出会い！

オトシブミ、ハンノキハムシ、コブヤハズカミキリもいた。ヤマカガシ(ヘビ)は2回遭遇。ひなたぼっこしてた模様。

クズの花の香りをかいでもらいました。「葉っぱ見たことあったけど、こんな花が咲くなんて知らなかった～」ありふれた植物だけど、なにがその人の心に止まるかわからないなあ…。(まき)



2004年8月17日

「毎日暑いね～」という挨拶が「最近涼しいね～」に変わり「ちょっと寒くない？」になった裏磐梯ですが、お盆も過ぎ人の数も少なくなりました。

毎日20数名が参加したシャワーウォークもちょっぴり水が冷たくなりそろそろ夏の終わりを告げているようです。

あと3ヶ月でスキーシーズンです。(ちょっと
気が早いかな?)(もく)



今日の「散歩しよう」は4歳の女の子の体力・集中力にあわせて、狭い範囲をゆっくり観察。

虫好きな子で、バッタ、キリギリス、トンボ、ザトウムシ、シャクトリムシ、アリ…なんでも手に乗せていた。

オオルリボシヤンマの産卵、フキバッタの産卵、交尾するアマゴイルリトンボ、ガガンボをむしゃむしゃ食べるハチの仲間、キツツキの穴からするする出てくるアオダイショウをみました。

「すごいっ」て私は思ったけど、彼女の印象はどうだったかな。(まき)

2004年8月18日

雨。「散歩しよう」には誰もこないだろう…と思いきや、リピーターの家族がきてくれた。アリガタヤ。

前にみたものを、どこでみたかまで、覚えている。そしてどんな話をしたかも。すごい…。

モリアオガエル、ヘビ、アケビコノハ(体についてる目玉模様が面白いガの幼虫)が前回見られたそうで、お父さんが熱心にアケビのつるをひっくり返して探すけど、いない…。「見たい！」わかります～その気持ちっ。私も今シーズン何度アケビの下をのぞき込んだかしれない。見てもらいたいもん！…しかし願い叶わず、アケビコノハは見つканななかった。

本日のヒットは、クワゴ(威嚇するかっこうが変わってるガの幼虫)、ゴマダラカミキリ、コクワガタ？。

解散してすぐ、虫好きのH君に会ったので、コクワガタかどうか見てもらおうと案内したけどいなくなってた。ゴマダラカミキリも。虫の足は早いよね…。(まき)

2004年8月21日

「散歩しよう」に一昨日のお客さんがまた来てくれた。ねらいはアケビコノハ。ほとんどそれ探しに費やしたが、見つからず…。残念無念。

午後、野鳥の森へ。そこにアケビコノハがいた！！あーっ、見せてあげたいーっ。どんなに喜ぶだろう！

水たまりをアミですくうと、ミズカマキリがとれた！これも別のお客さん、見たがってたなあ…。

キツリフネがたくさん咲いていた。オニルリソウ、ジャコウソウもあった。豊かな気分になれたなー。(まき)

2004年8月25日

晴れた！レンゲ沼周辺をひとり歩く。

2日続いた雨の間、探しても見かけなかった虫たちが現れる。また会えてうれしい！

前見かけた辺りでキトンボに再会。オオルリボシヤンマはまた産卵してる。マイコアカネの顔が青白くなってるの今年初めて見た！顔、背、体が赤いナツアカネも発見。成熟した雄の色なんだった。ノシメトンボ、オニヤンマ。アキアカネが減った。多いのはマユタテアカネ。交尾も観察。アマゴイルリトンボ、クロイトトンボ、ミカドフキバッタ、アマガエルはクズの葉の上で寝てた。エゾゼミ、ミンミンゼミ鳴く。…夏は終わってない。(まき)

2004年8月26日

お客さんこないが、けんちゃん(沖山研二)が来たので、中瀬の展望台まで歩く。
最初シデムシ発見。姫沼でマガモの家族？が食事中。近くで見る。足元でなんか跳ねた。バツカかと思いやぶを覗くとヤマアカガエル。長瀬川沿い、久々にハグロトンボ。葉のうでシュレーゲルアオガエルは昼寝。本日のヒットだな。
けんちゃんはハッカの香りが気にいってらしく、手帳に葉を挟んでた。(まき)

2004年8月27日

じーっとしゃがみこんで、ヤマナメクジを見る。「さわってごらん」と言うとお母さんの後ろに隠れてしまう。いやなのかな、と思うと、這ってゆく先を背中越しに見ている。
青いどんぐりを拾う。ハンノキの実を拾う。大事そうににぎって持つていく。
ぐずっておぶわれたら、瞼が閉じた。
彼にはミヤマアカネもマユタテアカネもキチョウも名前はない。
3歳の彼の感じている世界…なつかしい想いで眺めた。どんぐりが大切。その気持ち保ち続けて欲しい。(まき)

2004年8月28日

今週の書き残したい話。
25日。トビナナフシを初めて見た。枝のフリしたのを発見した…んじやなく、人が捕まえたのを見たんだけど、それでも感動っ！
いるんだねえ、裏磐梯に…。
27日。カワセミを見た。秋元湖で保護されてビジターセンターに届いたのを、連絡貰ったのですぐ見にいって。—美しい鳥だ。翼を怪我していた。獣医さんに届ける手はずをビジターのみのもる君がつけていた。
机に見慣れないハチ？の死体があって、図鑑で調べる。ニホンキバチらしい。
まちこちゃんが完全なヘビの抜け殻を持つてきた。皮が裏返しになってるみたい。どーやって脱皮したんだろ？(まき)

2004年8月29日

「散歩しよう」最終日、曇。8人参加(今年の最高人数だった。ありがとう)。
延長しての2時間半のほとんどが、お客さん自身の、素手でのトンボ捕り(9割マユタテアカネ)とツリフネソウの実を弾けさせるのに費やされた。あの話もしたい、これも…と思っていたが、トンボとツリフネソウの前を素通りできなくなってる楽しさに勝る話などない！
マイコアカネは草に止まったまま「顔が青い！」って観察できたし、ヤマカガシをみんなで見たりミドリシジミもいたし。
ただ、…自然に対しての驚きやら感動を、整理して深めておかないと、とっさに添えるひとは出てこない。話さない分今日はそんな自分の浅さがみえた。
ともかく…人を夢中にさせる虫や実ってすごい存在だなー。そして夢中になれる感性はいいなー。(まき)



2004年9月1日

レンゲ沼10:30~11:45、晴。
ミンミンゼミがまだ鳴いてる。イチモンジチョウ、アキアカネ、マユタテアカネの産卵、オオルリボシヤンマ産卵。ハンノキにエゾツユムシ？、ミドリシジミ、オニヤンマ、ノシメトンボ、ぼろぼろのエルトテハ？はカラハナソウに産卵してるみたい。ミカドフキバツは歩道で跳ねる。ヒョウモンチョウの仲間が勢いよく飛ぶ。黒いアゲハ、速い。

コバギボウシはもう1ヶ月も咲いてる。ノハラアザミ咲きはじめる。ユウガギク、ノコンギク
秋の野菊たち。

以上、現場からお伝えしました。(まき)

2004年9月2日

夏休みも終わりいっぺんに秋の気配が感じられる裏磐梯です。
ススキも目立ちはじめ気がついたことが…いつもより丈が高い！
長期予報では暖冬、少雪ということですが自然界では大雪の準備をしています。
さあ〜どっちだ？(もく)

「ハクビシンの死体拾ったんだけど」
1日午後そんな連絡がはいった。知人宅へ見に行くとアナグマだった。その日、猫魔スキ
一場入り口あたりで発見したそうだ。
鼻から額に線があるのが似てるが、ハクビシンは白粉で描いた感じ。アナグマは目の周
りが黒いからその間が幅広の線に見える。
少し皮膚病にかかっている。お腹が大きめなので子供いるのかな、と言ってたのだが、調
べたら出産時期は2〜4月。
今年アナグマの死体見るのは2度目。初夏、桧原湖南岸の長峰舟付近くのカーブでも見
てる。(まき)

2004年9月6日

久々に五色沼。弁天沼の透明な青が印象的。
コケに覆われたななし沼では枯れ枝にたたずむカワセミを見た！岸の藪に、もぐるように
はいつてった。
1本のヤマウルシがすべての葉を赤くして、そこだけ10月化していた。
ヤマブドウのつるにはアカガネサルハムシ交尾中。
瑠璃沼でミンミンゼミの声。いつまで鳴くか、気になっている。夏のしっぽのよう。(まき)

2004年9月7日

雲は灰色、白、速く流れ、時々青空。バラバラッと雨も降る。猪苗代の川で生き物探し。
片方の長靴で岸の草をがさがさやって、下流側の網に追い込む。ヨシノボリ、ヤマメ、カ
ジカガエルのおたまじゃくし(前足後ろ足あり)、サナエトンボのやごが採れた。
カワゲラ、トビケラ(小石の筒、枯れ葉の筒、筒なし)、ブヨの幼虫、プラナリアは平瀬の石
をかき回して採った。
大きめの石の下はヘビトンボの幼虫。
同じバケツにハリガネムシ入れたら、ヘビトンボの腹を締め付けて頭をくい込ませようとし
た！(ヘビトンボは振り切った)。
中州には上陸したてのちっこいカジカガエルたち。ハンミョウもいた。
今日もセミの声を聞く。
帰りにベニマルで買い物して、表に出たら二重の虹。夕方5時。(まき)

2004年9月9日

月に1度のびん・カンゴミの日。軽いし、晴れたから歩いてく。
ススキは穂が実ってから、ぐんと丈が高くなった。ホオジロが茎に止まってる。
べえ〜べええ〜。しろやぎ2匹が道ばたに繋がれている。「何かくれるの？」期待に満ちた
面もちで、寄ってきた。「ないよ、これゴミ」笑って返すと、また草を食べはじめた。
帰り道、アリがたかったトンボの死体を拾う。大物だ！腰がくびれてる。わくわくしながら
調べるとコシボソヤンマ。(まき)

2004年9月10日

福島大学の学生が、卒論で桧原湖の植物を調べている。その研究室の先生と面識があ
って、調査に同行させてもらった(ほんとにくっついてくだけ)。

私は普段遊歩道を歩いているが、じかに湖岸をまわると、見慣れない植物に出会う。水草もレンゲ沼にない種類が出てくる。

今年は県が、裏磐梯の3つの湖を調査しているが、その手伝いにも関わらせてもらっている。

歩いただけ、発見があると知った。だから「まだ歩かなけりゃ！」と思う。もっと裏磐梯の自然を知りたい。(まき)

2004年9月12日

“裏磐梯に降る雨は、電気になる！！”

雨は桧原湖から小野川湖、さらに秋元湖と流れ、猪苗代湖へ。この間に、標高差と豊富な水量を生かして、3つの水力発電所が明治時代から活躍してます。かつては山手線も走らせた！

本日は発電所見学。流れる水で水車を回し、その力で発電機を動かす。拍手したくなる単純明快さ！

暑くなりミンミンゼミも鳴く。(まき)

2004年9月13日

暑い。半袖だ。でもミンミンゼミは鳴かなくなった。

午後近所の川へ、長靴はいて、網とバケツ持って出かける。図鑑と手帳、カメラも用意。ヨシノボリ、ドジョウの仲間、サナエトンボのヤゴ多、ヘビトンボは4匹、カワトンボ？のヤゴ1、ミズスマシ1、ハリガネムシ1、ナベフタムシ1、透明なエビたくさん！、シマアメンボ多。

川虫はしつこく調べた。シロタニガワカゲロウ、カワゲラ、オオヤマカワゲラ。

こないだ成虫の死体拾った、コンボソヤンマのヤゴ見つけた！来年羽化するかな？(まき)

2004年9月15日

昨日、1ヶ月ぶりに雄国沼へ行った。ブナ林でヘンなキノコを見た。クリーム色した細い棒。よく見ると下のほうでわずかに色が切り替わる。根元を掘ると、埋まってる枯れ枝から生えていた。

「森のポッキーだっ！」どうやらホソヤリタケらしい。

ノボリリュウタケ、クチベニタケ(押すと白い胞子がでた！)、ホコリタケ？、シロソウメンタケ？、ヌメリササタケ？などもあった。

湿原はススキ、アキノキリンソウ、エゾオヤマリンドウ、ウメバチソウ。

ジャコウソウ、オクトリカブト、ヤナギタンポポ、サワフタギの青い実もきれいでした。(まき)



2004年9月19日

福島県の南端、舘岩村でキノコ観察会に参加。4年前に来た時と同じ林に行く。
かじると喉がカーッと辛くなるワサビタケはここで教わったな…と思ったらあった。傷つけると血みたいな汁が出るチシオタケもあったな…あ、またある。
草木より頼りない存在(と私には思える)のキノコが、同じ所でまた見られるって不思議。30種くらい教わったけど…むむむ。明るいオレンジ色のヒメベニテングタケは覚えたかな～。(まき)

2004年9月20日

磐梯朝日国立公園は広い。仁田沼、男沼は初めてだ。
お目当てはスミナガシ(チョウ)の幼虫。あこがれなのだ！
ここで見たって話を聞いたんで、探した。アワブキを食べるので、木をチェック。あるあるある！
しかーし幼虫はいない…。う～、また来年…。
さて舘岩もクリ豊作だったが、ここもどっさり。虫喰いなしの上物。でも拾うヒマないほど収穫いろいろ。
オオゴムタケだ。割ったらまるでコーヒゼリー。
森にはタゴガエル、アズマヒキガエル、ヤマアカガエル。沢にはヤンマの仲間、イワナ、サンショウウオ幼体、ヘビトンボ幼虫、カワニナ、カニなど。
リスの食痕は、アカマツとオニグルミあり。カラ類、キツツキ、カケスの声。オヤリハグマ、オオバショウマが咲いてる。
ここ、面白い！(まき)

2004年9月24日

21日、土湯峠越えて病院へ行った。福島盆地に下りたら「あ、キンモクセイの香りだ。」裏磐梯にはないみたいで、街の秋だなあと思う。
病院へはフルーツラインを走ってくる。先月はモモがなっていた。先先月はサクランボとモモ。今回はナシとリンゴ。4月、入院のころは花盛りだったなあ。
直売所で、紅玉7コ入150円てのを買ってきた。おいしかった。(まき)

2004年9月26年

昨日今日、友達が遊びに来てくれた。
百貫清水に行く。湧きあがる水につれて、水底の砂が動く。それがおもしろくて双眼鏡で眺める友達。あー、私ここ、なれっこになっちゃってて、ゆっくり砂の動きを見るなんてしてなかったなあ！
「百貫って、重さ？」
「いや、価値みたいだよ」
「いくらなんだろうね～」
調べたら、江戸時代の貨幣単位で一貫が千文。千文は一錢…
「そうすると、…え、一円清水？」はははっ。
いつもは気に止めない沢で「サンショウウオいるかな」「ここはいるでしょう！」
初めて来たにもかかわらず、確信に満ちた友達の発言に、石をひっくりかえすと、「あついたっ」ほんとにいるんだなー。
う～む、新鮮な気持ちになるなあ！(まき)

※江戸時代初期の交換比率では、金1両=銀50匁=銅銭4,000文(4貫)です。また、1両を現在の貨幣価値に直すと7万円程度と言われています(編集者注)

2004年9月30日

夏の疲れが出てさぼってた訳ではないのですが…。前回の日記を書いていたときはまだ夏！だったのが今はすっかり秋になってしまいました。
田んぼの稲刈りも順調に進んで、これからが本番！のはずが…台風の影響が心配です。
紅葉は1,600m位まで下がってきているので見ごろは10月の2週目あたりかな?(もく)

2004年10月1日

久々に晴れたー！
畑へ。トマトとナスどっさり。キュウリ、ズッキーニ巨大化。
トマトピューレとキュウリ塩漬け作ってのち途方にくれる。だって前回収穫のナスとズッキーニのトマト煮あと2回分はある…。そして私は胃拡張…。
生き物たちも、待ちわびた晴だ。アキアカネ、マイコアカネ、羽ボロボロのマユタテアカネ、トノサマバッタ他、畑のいきかえりに出会う。ヤマカガシはしばし並んで歩いた。子シマヘビは逃げた。オオケマイマイの殻が6個もあった。なぜ？ もーいないと思ってた(アブラ？)セミの声には驚いたな。(まき)

2004年10月6日

バイトが終わった夜8時。裏磐梯。
「うわー、天の川だ！」そして雲も月明かりもない満天の星。
長い雨続きがようやく！ 終わっての、とびきり澄んだ夜空。誰かに言いたいっ。
ということで、日記に書いておこう。(まき)

2004年10月9日

台風22号のせいか、今日はいちーんち雨です。
昨日の通院ドライブでは、真っ赤なリンゴとたわわなカキをみました。稲刈り進んでた。キンモクセイは時々香った。
磐梯山と安達太良山は1400mあたりから上がカラフル。今登ったらいいだろーなー。(まき)

2004年10月11日

台風の影響か?異常気象の影響か?全国でクマの被害が出ています。臆病な動物だと言われていますが怪我をしていたり脅かしたりすればやはり「猛獣」に変貌します。
幸い裏磐梯ではまだ出ていませんが今日、デコ平の遊歩道で新しいクマ棚を発見しました。これからの季節、トレッキング中に遊歩道でばったり！なんてことも。
やっぱり野生動物の領域にお邪魔しているという謙虚さは必要だと思います。(もく)



2004年10月12日

窓からの景色も秋が深まってきた。
ススキは雨の降るごとに穂をしゅんとさせ、陽を浴びては白銀にふくらむ。シロヤナギの葉は緑が薄れ、力を無くしつつある。その下で赤・黄・オレンジを混ぜてヤマウルシが紅葉の盛り。サクラは日ごと赤を濃くしていく。
ベランダで夜の大気を嗅ぐ。ああ色だけじゃなく、紅葉の匂いってあるんだな…。(まき)

2004年10月19日

飯豊しばらく見てないな。晴れた17日、喜多方の人に会ったので、「今日は飯豊きれいだったでしょう」「大日岳が白かったですよ」あー初冠雪だ。磐梯山はまだだな。
早稲沢のミズナ(山菜じゃなくて野菜)の大株をもらい、ちまちま食べてたら、傷んできた。全部ざくざく切ってボールに山盛り。塩、あらびきトウガラシ、思いつきでコンブはハサミで細切り、浅漬けに。…めったにない事だ、うまかった。コンブおいしいなあ。(まき)

2004年10月22日

朝7時から五色沼。ちょうどいい気温。
紅葉の晴天でも、これだけ早けりゃ静かだろう、と思ったが歩きだしたとたん、小学生の団体に遭遇。
エナガの団体に遭遇。ヒツバカエデのレモンイエローの団体に遭遇。ウルシの赤はサヨウナラだった。
中津川溪谷は、レストハウスから下りていく黄色いミズナラのなか、森を透かして眺めるハウチワカエデやコハウチワカエデの赤も味がある。(まき)

2004年10月24日

無風快晴！山くっきり。ブナが黄葉してる。青空。陽射し暖か。気持ちいい！待ってたよこんな日を。
今日は日曜。駐車場いっぱい、道渋滞。
昨日は夕方になっても、中吾妻山のとっぺんが霜で白かった。今朝は磐梯山のピークが霜。ようやくだなあ。今年はゆっくりな秋。五色沼のカエデはこれから赤くなります。(まき)

2004年10月30日

27日磐梯山初冠雪。朝近所歩いてたら、小さな白い粒が降ってた。後で初雪だと聞いた。こっそりした初雪だったな。
昨日秋元湖へ行った。ミズナラが黄葉し、林の中が明るい。湖には鴨たちが来ていた。
車を走らせてたら、ふいに鮮やかな青が目飛び込んできた。黒い羽に青のライン、ルリタデハだ。落ち葉のう上でひなたぼっこしてたんだろう。驚かせてごめん。(まき)

2004年10月31日

10月も今日で終わり、明日からはなんと11月です。26日にはグランデコスキー場がオープン！冬(スキー)はすぐそこまで来ますよ。2、3日前には磐梯山に冠雪があり、「2回磐梯山に雪が降ると3回目は里に下りて来る」の言い伝え通りだと次は裏磐梯も雪でしょう。ペンションはスキー場がオープンするまでちょっと暇になります。(もく)



2004年11月5日

西陽の射すレンゲ沼をひとまわり。
カラマツが黄色い。シロヤナギがこずえの先にわずかに葉を残している。アカマツが水面に枯れ葉を散らしている。ミツバアケビの葉が渋い色あい。
ジュンサイは枯れて、沼は静けさをましていく。岸辺のヒメガマやヨシも枯れ色だ。
草むらでちっ、ちっとなんが鳥が地鳴きする。
ザトウムシを見かけた。
あとはしーん。(まき)

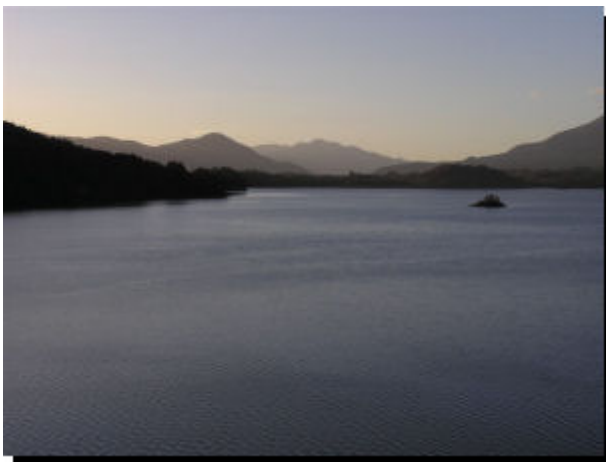
2004年11月6日

コフキイモ的ほかほか陽気。
区雄国のすその刈り取り済んだ田園地帯へ、てきとーに車で入り、なにかいないかな、と下

りた草むらから、はかなげな枯れ草色のイトトンボが舞った。
わーっ、トンボまだいるー！
越冬する種類かな。歩くとあちこちから飛ぶ。いいなあ…。
夕焼け。明日晴れかな。(まき)

2004年11月7日

11月に入りDMの発送、雪囲い、遊び道具の入れ替え(カヌー→ネイチャースキー、スノーシュー)、営業…と忙しく、季節を楽しむ感性が鈍っているようです。気が付くと観光客の数も減り、カラマツの黄色い葉も落ち(カラマツは針葉樹で唯一落葉します)晩秋から初冬への衣替え真っ最中になっています。これから僕も少しずつカヌー&トレッキングモードからネイチャースキーモードに衣替えです。(もく)



2004年11月14日

猪苗代へ下りる途中、土湯沢辺りで灰色っぽいものが道路端に散らばっていた。帰りに車止めて確かめたら、ひかれて、鳥か動物に食べられつつあるノウサギ。藪に移し、合掌。
夕方また猪苗代へ。暗くなった5:23、果物直売所のところで跳ねるノウサギを見た。生きてるう〜。ほ〜っ。
どっちのノウサギもまだ夏毛でした。(まき)

2004年11月15日

4:45。暗いし体は眠気を引きずってるが、起床。炊飯器のスイッチ入れて4:55出発。
猪苗代湖のハクチョウのカウントは、ねぐらから飛び立つ前にやるのだ。猪苗代の鬼多見さんの調査に、見習いとしてついていく。
5:45薄暗い湖面、初めは見分けづらかったが、まもなく明るくなる。
飛び立つハクチョウに遅れず、広範囲をカバーするため軽トラで調査地点を移動(雪の時はクロカンで移動してた)。ヨシが高くて見えない地点は、荷台に脚立をたてる(雪でヨシが倒れればこの必要はない)。あらかじめヨシを刈って(鬼多見さんが刈ってる！)、水際まで行けるようにしたところもある。胴長はいてるとはいえ、深さやぬかり具合が未知の水中はおそろおそろ。腰まで浸かってカウンターをかちかち。は〜、季節によってこんなに状況がちがうのな〜。んで工夫もすごいな。
寒くなくて楽。コハクチョウの成鳥・幼鳥700以上数えた。
ヨシ原を歩きながら、20年くらい前はここは砂浜だったと聞いた。この岸で生まれ育ってずっと見てきてる人だ。
フトイにハクチョウの食べあと。知らなかったなあ。…収穫多い1時間。
終わったら雨が降ってきた。(まき)

2004年11月16日

2回目の雪が降った。大粒で積もりそうな勢い。雪だ雪だあ〜っ。空が灰色に暗くても、雪なら許す！…が、激しい降りは一時で、積もりませんでした。
窓の外アオサギ1羽、湖へ飛んでいった。(まき)

2004年11月19日

福島大の学生にくっついて、東北大の植物標本を見に行った。
図鑑の写真や記述がいくら詳しくても、分からない。もー、実物見なきゃ！…という事があります。
そんな時は標本。百聞は一見にしかず！ 一刀両断に解決！
牧野博士に同定(種類を定めること)してもらった標本とか、1800年代のものとかもあって、貴重…。
明治時代の知見がこうやって受け継がれるのな…。しみじみ。(まき)

2004年11月22日

友達と野鳥の森を歩く。葉は散りきって見通しいい。K氏がルリビタキ発見。すぐ草むらにまぎれてしまう。尾根の森にはツグミの群。冬を感じるなー。
展望台から桧原湖沿いを歩いて戻る。縁石の上にテンらしきフンがある…またある…ここにもまた…。30はあったかも。
K氏はフンに混じる種を見て、サルナシ食ってる、アケビだなとチェックしていく。多かったのはヤマブドウ。ツルウメモドキもあり。
赤い果肉と縦すじ入りの種。「分からないなー」カンボク、ノイバラ、コマユミ、ヒロハヘビノボラズ、赤い実の種を調べたけどみんな違う。
帰ってから図鑑を見る。アキグミらしい。(まき)

2004年11月25日

「磐梯山に3回雪が積もると里に下りて来る」の言い伝えが今年に限って当てはまらないようで、山の雪も消え暖かいまま12月を迎えられそうです。
生活をするには穏やかでいいのですが何と今日(25日)はグランデコススキー場のオープニング！ 勿論、雪なしでお祓いのみのオープニングです。(もく)



2004年11月26日

25日の午後3時半、窓の外を6羽のハクチョウが飛んでいた。うちより北へ行ったから、休暇村辺りか、曾原湖か檜原湖か。
裏磐梯に来るハクチョウは少ない。めずらしいなあ。
今日の夕方、ベニマルに行ったら、近くの田んぼの上空をハクチョウの群が飛んでた。…日常感覚になってるけど、野生生物と人の暮らしの距離がこんなに近かって、うれしいことだなあ。(まき)

2004年11月27日

夜半から暴風雨。早朝磐梯山は白くなってた。今日は東京の山奥まで行く。
郡山で虹を見た。1時間後黒磯でも虹。ゆくては青空。いい日になるぞ。
渡良瀬川を越えたら、富士山が見えた。お久しぶり！ 白いね。
五日市は暑かった。紅葉してる。
丸い月が白くまぶしく黒いヒノキ林の上に出た。ち・ち・ち、コウモリが鳴く。
たき火して、釜にぐらぐら湯を沸かし、手打ちうどんをゆでて食べた。庭のゆずが薬味。
冬の味。(まき)

2004年11月29日

ほかほかあったかい埼玉から帰ってきました。磐梯山、上は樹氷と雪。
1℃。さみー。電車乗った時と降りた時で、15℃は違うな。(まき)

2004年12月2日

先月一度顔を見せた猪苗代湖の白鳥が久しぶりに7羽遊びに来ました。ここのところの冷え込みで沼の廻りに薄氷が張りやっと本格的な冬の到来…だといいな。

今日1日は猫魔スキー場のOPENですがデコ同様雪が無く式典のみのオープンでした。これから磐梯地区のスキー場は次々オープンですがいつになったら滑れるやら。(もく)



昨日、起きたら雪がつもっていた。ようやくだ。5cmくらいかな。ひえびえしてたけど、今日には溶けてしまった。

けんちゃんが、「土湯峠通ったら3台くらい車つつこんでましたよ」…降り始めは気をつけないね。

蓮岡君が、ここ何日か猪苗代でムササビ観察を続けてて、見た、というのでビジターの志帆ちゃん、れいちゃん、けんちゃんに行った。

5:15から7:00まで、巣穴のある木の前で待つ。日は暮れてしんしん冷える。

「木の上でなにか食事中！」別なところから蓮岡君が呼ぶ。みんな移動。かしかし音がする。れいちゃんの頭にマツボックリの破片が落ちてきた。しかし姿は見えない…。

ここにムササビ見に来て、2度目の空振り。く～、てごわいぜ。次行ったら3度目の正直となるか？(まき)

2004年12月3日

熊本の高校生たちと五色沼を歩く。

この時期ガイドが入るのはめずらしい。遊歩道は他に誰もいなかった。

氷点下の朝。樹氷と青空とてっぺんの白い山々。裸木、霜にふちどられた落ち葉、枯れたヨシ。初冬だ。

弁天沼はふちが凍っていた。生徒の投げた石が氷の上を滑ってく。それに感動してる生徒たち。

「氷はらないの？」

「はらないっすよー」へーっ。こっちも感動してしまう。

午後けんちゃんと新スタッフのりょう君と雄国沼に行った。

木道下の水面に薄氷が張っている。思わず手をのばして割る。…気分は高校生たちと同じかも。

さて、雪に動物の足跡はあったけど、動物にはあえず。悔しがるりょう君と私は明日、例のムササビ観察に行くことにした。つづく。(まき)

2004年12月4日

というわけで、りょう君と夕方猪苗代へ。

16:30頃から、巣穴(?)前で張り込む。曇り空。たいして寒くない。だんだん暗くなっていく。

17:20、張り込み場所の左手からムササビの鳴き声がした…しかし姿は見あたらない…空耳？

18:00。あきらめた…。は一。

次は明るいうちにきて、巣穴や食痕探しから出直しだっ。

確実にいるとわかってる場所だけに、そうとう悔しいぞ。

もちろん・つづく。(まき)

2004年12月7日

ムササビ観察、高橋4回目。今回はビジターの志帆ちゃん誘ってく。

前から見てた蓮岡君がピッキオスタッフに声をかけて、総勢8人。まだ明るい16:00頃、全員揃ってあちこちの穴を確認。手分けして張り込んだ。本日曇。寒くない。

17:14、私の張り込み場所の右手で音なくムササビが飛んだ！

みたみたみたっ！

やああったあつ！

黙ったまま、感動。

あの真下に2人張り込んでいる。自分の担当を捨ててそこへ行った。2回飛ぶ姿を見た。そして見失った。ムササビは鳴かずに移動しつづけていた。

17:30過ぎ全員で集まり、情報を整理すると、経路が分かった。私が見たのは、17:06にすでに巣穴から移動してたのが、さらに飛んだ姿だった。17:30に志帆ちゃんが鳴き声を聞いたのが最終確認地点。

うーむ、人海戦術はきくなあ。

いままで一緒に来て見られなかったけんちゃんやりょう君とまた来よう。…して、私の最終目標は裏磐梯でムササビ、さらにモモンガを見る(欲張り?)、なのだ。長い道な気はするが。(まき)



2004年12月10日

「裏磐梯にもムササビいるんだねー」ペンションのバイト中(もくもくではない)、奥さんのサエコさんが話した。

「川上温泉あたりで、暗くなりだした頃、トリじゃないのが飛んだの。うちのがムササビだって言って、もくもくのHPみたら、みたって書いてたから」

え、うれしい、読んでくれてる～。

「四角かったよ」

「あー、それムササビじゃないかなあ。私が見たのは猪苗代ですけど、前に裏磐梯から猪苗代降りる途中、見てる人いましたから。んー、いいなー」

オーナーの八木さんは、写真撮影のお客さん案内で、明け方や夕方あちこち出かけて、「あそこイタチよくいるよ」うわ、それうちのすぐ近くじゃないか！…動物目撃談はまだあった。うーん、八木さん見てるなあ！

「好きなのよー」ソウダツノカ。

そのバイトの帰り、20:26曾原湖から休暇村側へ、テンが横切った。白い顔で黄色の体、しっぽの先が白。冬毛のテンだった。

…夏のバイト帰りにも、ここでテン見たなあ。(まき)



2004年12月11日

友達が遊びに来た。明るいうちからムササビの棲む森へ行く。冷たい風の吹くなか、食痕やフン、巣穴を探し、新しめのを見つけた。16:45防寒対策して張り込み開始。17:02、奥のスギのあたりからかすかに鳴き声。さあそろそろ巣から出る時間！しかし待てどもムササビは現れなかった。

18:30頃まであちこち探し回ったが気配なし。ああ野生動物にあうのはむずかしい。風は強く吹き続けていた。

切り上げて風呂にはいる。寒さで手足が痺れたように痛くなってきた。

「観察した後すぐ風呂はいれるなんていいねえ」は一ほんとにね。(まき)

2004年12月14日

もくさん、けんちゃん、りょうくん、すえみさんと雄国沼へ。
谷にいくらか6日の雪が残ってるものの、山の気配は11月。裸木の枝に当たる光がきれいだ。
ブナの幹にどこも壊れてない大きめのセミの抜け殻があった。別のブナには腹がないエゾハルゼミが幹に口を刺してひからびてた。よく残ってたこと！ 先週は気づかなかったなあ。
11時過ぎ、外輪山の中にはいる。快晴の青空に樹氷で真っ白な猫魔がきれい！ 磐梯山のとっぺんも白くのぞく。
雄子沢の向こうに吾妻連峰。こんなにくっきり見えるなんて！
沼の青も感動。すえみさんの空揚げと卵焼きも感動。
帰りサワグルミに穴発見。思わず顔がほころび「おっ、いい穴だあっ！」(もちろんムササビモモンガを想定。)
すえみさん曰く「山登りしてていい穴だとか、動物のうんちだって騒いでる人いないよね〜」
そう？(まき)

2004年12月15日

【裏磐梯でムササビモモンガを見よう計画】は本日大躍進！！
ムササビより見つけにくい、モモンガのフンを某棲息地(裏磐梯ではない)で教えてもらったのだ。巣穴らしいものや、飛び移る時の幹のけばだちとかモモンガの食痕も見せてもらった。きゃっほー！ いきなり核心だあ。
教えてくれた岩崎さんは、今福島大にいる。去年、池田君が裏磐梯で弱ってるコウモリを保護したけど、回復はむずかそうだったので、せめて種類調べようと思って福島大に頼んだことがあった。モモジロコウモリだった。
「その同定したの僕です」
おやまあ。狭い世界だよねえ。(まき)

2004年12月20日

今日は陽がさしている。また雪溶けた。
早稲沢に行った時、集落の奥の神社を見てみた。境内はスギの大木があり、皮がはげている。でもねぐらになりそうな穴は見あたらない。
社をひとまわりしたら、屋根下の壁板にかじられた痕のある穴があった。キツツキならまんまるにあけるだろう。
いるのかな、ムササビかモモンガ。…新しそうな痕跡はないけど。
住んでる人は見てないと言う。「前は山さはいって木いきったりずっと、穴からでたりしたな」ほおー。
今も人目につかないだけで、山の木の穴にいるんだろうな。(まき)

2004年12月21日

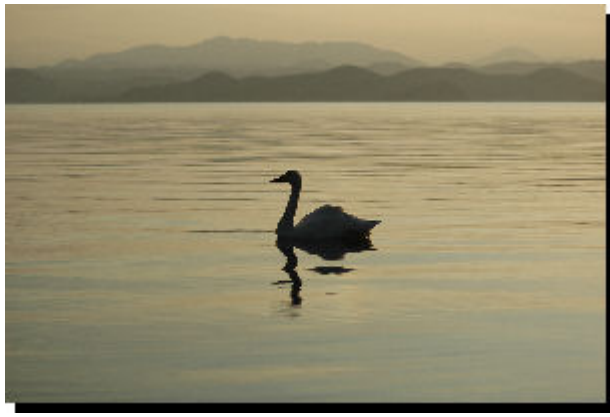
「猪苗代湖の水は新潟通って日本海へ流れてると考えると、猪苗代湖の自然を守る会で新潟の地震被災地行ってきたいと思ってるんだ」そんで、もちをごつつおしたいんだ、と11月のハクチョウ調査の時、鬼多見さんが言った。
なんという心意気！ 私は賛同したけど、この時点では鬼多見さんひとりの思いつきだった。やれるのかな…と思ってた。
果たせるかな、今日、小千谷市の仮設住宅地でもちつきしてきた。おいしいって喜んでもらえた。
ボランティアなんだけど、ドライビン、宿泊業ってな、プロの腕前をたずさえていけちゃう。メンバーの自前で、マイクロバスからずんどうからイベント用テント、発電気etc…が準備できる。観光地猪苗代の底から。
そして鬼多見さんはやっぱりすごい。でも力んでないんだな—この人は—。(まき)

2004年12月23日

年も押し詰まりやっとな本格的な冬型になったので「クリスマス寒波」で大雪だ、と期待していましたが…残念！

でもこれで年末は何とか滑れるでしょう。大雪は次の寒波に期待します。

写真は夕刻の猪苗代湖の白鳥です。現在、約1,500羽が羽を休めています。(もく)



21日から雪降ってはいるけどおお…。3cmくらいかなあ。

でも寒い。うちの中のバケツの水は凍りました。

私が越えてきて8年、こんなに遅くまで積もらない年はなかった。地元の人に聞いてもこんなことなかったって。…やはり温暖化なのかなあ。

池田君もけんちゃんもスキー履きたいと言っている。しかし自然に逆らえない商売なんだよねー。(まき)

2004年12月24日

朝起きたら、うちの駐車場の雪のうえに、サンタクロースの足跡がついていた…。違うね。サンタは25日の朝じゃないと足跡みられないよね(笑)。あったのはウサギの足跡です。

今日も弱々しく雪が降りました。うちでぼーっとしてたら裏磐梯のサンタが「ぴんぽ～ん」私の好物のささき亭のラスクを届けてくれました。うう。ありがとう。

日にちを無視して早めに「ぴんぽ～ん」手編みの帽子とマフラーとカーデガンを届けてくれた裏磐梯サンタもありました。ふう・あったかいです。…じゃ私もソリの準備をするかなっ。(まき)

2004年12月25日

けんちゃんの案内で、りょう君と3人、檜原湖南西の京ヶ森を歩いた。長靴で正解。やぶはまだ寝てなかったし、湿地はぬかったし、沢はしっかり流れていた。

雪は灰色の空から降り続いてたけど、森の中は風はなく、動いてると体はあったまった。京ヶ森のピークに行ってみたかったが、ササやぶ斜面なので、雪つもってから来ることにした。

「今日も動物見たいオーラ出してます」りょう君によると、出していると遭えない。そんな気がないと遭うそう。したがって本日も遭えませんでした。

けんちゃんが最後、自分たちの歩きだした足跡にぴたっと戻ったので、無性に感動してしまった。

モモンガ見たい…。夕方こないだフンを教えてもらった場所へ行った。巣穴にフン、これだけそろってれば、見れたも同然！…と確信98%のたかはしの期待は日暮れとともに打ち砕かれました。あれー？

今回は一人で見てみよう、と思ってたけど、また福島大の岩崎君登場。「このフンは古いです」「ねぐらは1匹でいくつかあります」いろいろ示唆を受ける。先生ありがとう。

やはり道は長く曲がりくねっているのね。年内は厳しいが、2005年必ずモモンガみる！決意は堅いぜ。(まき)

2004年12月26日

午前雪。昼から晴れ。でも今日、室内ワークしておかないと後で困る。…のだが、萩尾望都のマンガにすっかりココロを奪われている。ふーっ、この吸引力はどうしたら生み出せるんだろう…。あと4巻、早く出してくれー。

読了！作業しよ。(まき)

2004年12月27日

雪。休暇村でスタッフクロカン研修。今シーズン初めて履く。コースはまだないので、芝生や遊歩道で練習。舗装のそこはストックの先がカチカチあたる。
その後、昼時の中瀬沼をクロカン歩き。もちろん遊歩道しか歩けない。
ハンノキ林でアカゲラ3、ゴジュウカラ2、コゲラ、ツグミ、アオゲラ2に遭う。中瀬沼にハクチョウ2。みなさん食事中。
うちに帰って、ふとベランダ見たら、そこにのびてきてるツタウルシの先にジョウビタキのメスが止まって尾をぴこぴこ振っていた。うわっ、目の前！ 裏磐梯じゃあまりみないよな。
13:10。(まき)

2004年12月28日

夜、細野のさとしさんがたくわんもってきてくれた。ありがたい。
最近出た本にムササビやモモンガを見た話を書いてあった。実はその舞台、さとしさんの生まれたとこなのだ。「みたことあります？」「ないんだよな」そっかあ。
さとしさんは子供の頃、わなしかけてウサギ捕ったりしてた人だ。こないだけんちゃんたちと、さとしさんと山歩いてみたいね～としゃべってた。チャンス。
「さとしさん今度一緒に山歩いて下さい。子供の頃行ってたところ。道の無いところ」実現させたいな。(まき)

2004年12月29日

池田君、けんちゃん、りょう君と福島は中通りの東和町にある神社へ行く。福島大の岩崎君たちがムササビ調査するのに参加。東京でムササビ観察を長くしている岡崎弘幸先生もみえるというので、ぜひとも行こう！
って出かけたのだが…猪苗代で事故渋滞、引き返して母成越え、やっと国道4号出たらまた渋滞。知らない県道くねくね走り、すっかり暗くなった道で迷い、落輪しかけながらもやっとの思いでたどり着いたのは、18時過ぎ。もうムササビは巣穴から出てる時間でありました…ふうっ。
ムササビに会うことはできなかったけど、岩崎君や岡崎先生たちに会い、ムササビがシラカシの芽を食べた痕や、調査用のカメラ、巣箱を見せてもらったり、雪上(地上)にムササビの跡はつかないって教わったりした。
ムササビに会うには樹洞・巣穴探し、フンや食痕探しから始まると岡崎先生はいいました。よし地道にやろ～。
…今日は1日雪。ぱふぱふで15cmはあったな。裏磐梯より中通りのほうが多かった。雪遊びのわくわくを呼び覚ます雪でありました！(まき)

2004年12月30日

11時半から13時半五色沼クロカン。ワックスかけた板が軽い雪によく滑る。気持ちいい！しかし雪が締まってないので、雪に埋もれた岩の上も滑ってしまう。いやな音。…まだクロカンは早いか。おすすめは長靴散歩ですね。
ツグミ、シジュウカラ、ヒガラ、コゲラ、エナガ、アカゲラ、カシラダカを見た。
毘沙門沼にはコハクチョウ6、カルガモ、マガモ、ホシハジロ、ヒドリガモ、ヨシガモ。
話変わりますが、「正月のもちがないけど、ま、いっか」って考えてたらもちをいただくことに！今日は考えてたことがあと2つ叶いました。いい日だ(笑)。(まき)

2004年12月31日

くりきんとん作った。これがまたコーヒーにあう！もちもあるし正月の準備はオッケー。では…
(あのスギ、皮はがれてたよな)手がかりはそれしかなかったが、ムササビ出巢時刻を狙ってひとり山に入る。今日も雪。空はグレー、地上は白、夕方でも森は案外明るい。17時から30分ひとところじっとして、ひたすら耳を澄ます。グルルーって鳴声しないか、動く物音しないか。だけど聞こえるのは雪の降る音だけ…。
これが私の大みそかでありました。(まき)